

社会福祉法人まりも会

清瀬療護園

広報紙

ほのぼの通信

第67号

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘3-1-72

清瀬療護園

TEL: 042-493-3235

Fax: 042-493-3234

発行

地域福祉委員会

(広報部門)

オリエンテーリング大会

〜三密を避けて〜

4月29日 (水)

予定していた「新緑の集い」が中止になり、その代わりとして今回「オリエンテーリング大会」(3密を避けた企画)が園の敷地内で行われました。

オリエンテーリングというのは、地図とコンパスを用いて、野山に設置されたポイントをすべて通過しゴールする野外スポーツの一種です。

今回清瀬療護園では、職員が特設ポスト(ポイント)を作成し、敷地内に設置しました。スタート地点で地図をもった利用者の方は職員が付き添い、タイムは競わず「三密」を避けて、設置されたポイントを探し出し、のんびりとコースを回りました。ゴールした方には参加賞と認定証をお渡ししました。

参加した利用者自治会長の



大島由子さんは「楽しかった。ポストが置いてある場所を探して回ったけど、すこし分かって、それがまた面白かった。すぐに見つけられると、面白くないでしょう。あのくらいがちょうどよかった」と話していました。



新型コロナウイルスの感染予防、及び拡散防止のための対策を実施しています

(7月6日現在)

政府による緊急事態宣言が5月25日に全面解除されたことを受け、清瀬療護園では細心の注意を払いながら活動の再開に向けて準備しております。新型コロナウイルスの感染予防、及び拡散防止のため、現在、以下の対策を実施しています。

【対策】

- ◆基本的な感染経路を断つ取り組み(マスク着用・手洗いの徹底・アルコール消毒・換気及び利用者・業者・職員の検温等)の実施。
- ◆ご家族様の面会は屋外(広場等)または多目的室とし、面会時間は30分以内とする。
- ◆ボランティアさんによる活動の中止(外出付き添いボランティアさんは条件付きで可)。
- ◆ご利用者様が「喫茶」を利用する場合は、デリバリー形式とし、テラス席での飲食は対面を避けて可とする(座席の制限あり)。
- ◆外部・地域の方の「喫茶」のご利用は、パンとドリンクのみのテイクアウトとし、テラス席でのテイクアウト商品の飲食は可とする(座席に制限あり)。
- ◆外部業者の出入りは予防対策をとった上で、条件付きで可とする。
- ◆施設入所・短期入所利用者、通所利用者の居住空間の往來を中止する。
- ◆日中帯は玄関内側の自動ドアを自動から手動とする。
- ◆利用者・職員が密集する企画・活動は中止とする。買い物外出およびドライブ企画は条件付きで可とする。
- ◆施設設備の地域への貸し出しは中止とする。
- ◆ご家族の皆様、地域の皆様、関係する方々におかれましては、ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
- ◆ご不明な点があればお気軽にお電話ください。

手作りマスク作り

5月23日(水)

2階活動室で「手作りマスク作り」がありました。当初は地域交流イベント「ティッシュケース作り」を行なう予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設内のご利用者様のみの参加で「手作りマスク」を職員と一緒に作りました。ご利用者様に好きな柄を選んでもらえよう、いくつかの生地を用意しました。出来上がったマスクを付けてみた時のご利用者様の嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。(担当)



小説を書きました

清瀬療護園利用者 篠崎琢也



僕はベッドで『環境制御装置』を使ってフード入力をし、小説を書いていきます。小説を書くのはとても楽しいです。また書いたので、この「ほのぼの通信」に載せさせていただきます。

あるトカゲの未来への予感

今は昔、「マツカサトカゲ一族」といわれるトカゲの一派が、幸せに暮らしていた。恐竜が世界中に君臨していた時代である。

神である大國主命（おおくにのみこと）はトカゲたちに言った。

「お前たちは非常にかしこく見事であるが、身体を大事にし、天敵に気をつけろ」

トカゲたちは神の声に耳をかたむけた。

「トカゲたちよ。今に哺乳類の時代がやってくる。

大きな哺乳類の時代が。哺乳類はお前たちをつかまえて食べるだろう。だからトカゲたちよ、いろ

んなものに身を変え、敵から身を守れ！ 恐れずに海に潜れ！ あるものはカモノハシになり、あ

るものはイルカやシャチ、クジラになるだろう。今

までのように敵から逃げ

回る生活ではなくなるであろう。また、遠い未来、ネズミは猿になり、猿はやがて人間になるだろう。」

大國主命はここで大きなため息をつき言った。

「人間。私には未来が見える。人間は科学を発達させ、

かしこくなり過ぎてしまっている。滅亡するかもしれない。地球がダメになっていくことを人のせいにする科学者は、

うつけ者じゃ！ あとで誰が困ろうが構わないのか。」

神は怒っていた。

「私は何のために人間を作ってしまったのか。」

海岸沿いにそびえ立つ崖の上で神の言葉を聞いていた、

ある一匹のトカゲは、空から自分を狙っている大きな鳥に

気づいた。その鳥が急降下し、トカゲを食べようとその大きな口を開けたとき、トカゲは

まさかさまに海の中に飛び込んだ。海に潜ったトカゲは、

最初は泳ぐのに夢中だったが、やがて泳ぎをおぼえた。

海での生活が何世代も続いた後、

トカゲはイルカ、シャチ、クジラに

なった。



「施設設備貸し出し」「ボランティアさん」引き続き中止を継続します(一部例外あり)

新型コロナウイルスの猛威はとどまる事を見せず、東京都内では「第2派」の到来を思わせるように感染者が増え続けています。清瀬療護園の地域交流の一環である「施設設備貸し出し」も感染予防・拡散防止の観点から2月末から中止を継続せざるを得ない状況であり、清瀬療護園を舞台とした数々のイベントも秋まで中止が決定しています。また、利用者、施設に新しい風を入れてくれる「ボランティア

アさんの活動」も、外出付き添いボランティアさんを除き、同じ理由で中止継続となりました。今後については国・東京都の動向、施設の状態などを判断材料としながら、活動の再開を細心の注意を払いながら目指していきたいと思っております。どうかご理解のほど、よろしくお願

いいたします。地域支援課「地域交流」「ボランティア」

担当 大場高明

清瀬療護園祭り中止のお知らせ

毎年9月に実施されている清瀬療護園祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は中止とすることになりました。

マーライオンの国

生活支援課 職員

齋藤和季

生活支援課（2階）に所属しています。就職してから7年が経ちましたが、法人に所属してからは10年を超えました。というのも、私は学生時代にまりも会傘下のくるめ園で夜警のアルバイトをしていました。4年制大学に5年間通い就職をどうしようか悩んでいたところ、当時のくるめ園施設長から療護園を紹介していただきました。

私は小学5年生の時に父の仕事の関係で、東南アジアのシンガポールに住むことになりました。シンガポールというと、国の象徴『マーライオン』を思い浮かべる方もいるかもしれませんが、シンガポールでは約4年間過ごしましたが、今となっては後悔していることがありません。それは英語が話せなくなったことです。



シンガポールの象徴、マーライオン



現地で生活しているときは日本人学校に通っていましたが、小学生の時は英語を全

く知らなかったため、不安しかありませんでした。5教科に関しては日本人の先生でしたが、音楽・美術・体育の先生が日本人ではなかったため友達に翻訳してもらいながらなんとか授業を受けていました。しかし、英語の授業だけでは日本語が禁止だったのでとても苦労したのを覚えています。中学生になり高校受験の勉強を始める頃には英語は得意科目となっていました。高校受験なのに大学の過去問題を解いたり、センター試験の模試を解いたり色々おかしかったのに充実していました。今では英語を聴くことは出来ても話すことは出来ません。帰国子女なら英語くらい話

グループホーム カーサ・マリモ 【ショート・ステイのご案内】

【カーサ・マリモご紹介】

カーサ・マリモは重度身体障害者の方を対象とした、まりも会が運営するグループホームです。

共同生活援助事業に加えショートステイ事業も展開しています。

カーサ・マリモでは、ショートステイ3床、緊急一時1床の計4床を年間通して受け付けております。

毎月、1日から10日まで御利用の受付をしており、15日までにご家族様他関係各所へご利用についての連絡を行い、2ヵ月後からの利用開始となっております。

【居室案内】

全居室冷暖房完備、TV設置、移動用リフター設置、入浴設備はリフト付き入浴場と、自立浴槽の2種設備があります。自立浴槽は利用制限を設けておらずいつでも利用可能となっております。トイレは居室外に、4基。全トイレウォシュレット完備。大型車椅子にも対応できる幅広いトイレも設備としてあります。ホールTVはインターネットに繋がってお



り、YOUTUBE等のサービスもご覧いただけます。

【ご利用案内】

障害者福祉サービス受給者証をお持ちの方のご相談をお受けいたします。ぜひ一度当ホームに見学にいらしてください。

詳しくは、まりも会ホームページから《まりも会施設案内カーサ・マリモ》にて《ショートステイのご案内》を掲示しております。ぜひご覧ください。電話での説明も行っておりますので気兼ねなくお電話ください。

新規設立の施設な為、マップ・ナビ等に表示されないことがあります。

お近くまで来られ、場所がご不明な場合はお気軽にお電話ください。

せるでしょ？と当たり前のように言われることが多いのですが、それは偏見です。話せなくなった原因は自分が努力をしなくなったことなので誰のせいでもなく自分自身の問題であります。しかし、帰国子女だから一括りにするの

は差別的な発言だと捉えてしまっています。シンガポールは多民族国家です。色々な人種、様々な文化が共存していますが、差別的な扱いをされたことはありませんでした。そのような環境で一時的にも生活できた経

験はとても貴重なものです。これからの人生は福祉の世界で生きていくことになると思うので、多角的な視点からご利用者様の生活をお手伝い出来るように努めていきたいと思っています。

相談支援センター 開設5年目を迎えて

清瀬療護園 障害者相談支援センター

主任 東郷基樹

清瀬療護園障害者相談支援センターは、今年4月に、5年目を迎えることができました。これも皆様のご理解・ご協力の賜物であり感謝を申し上げます。

清瀬療護園やカーサマリモ（グループホーム）のご利用者だけでなく、地域にお住まいのご利用者、他の入所施設等のご利用者の相談支援を行ってきました。

当事業所は、清瀬療護園内に『指定特定相談支援事業所』として開設しました。障害福祉サービスを利用する上で必要な『サービス等利用計画』をご本人と一緒に作成します。この『サービス等利用計画』を基に福祉サービス（施設入所支援・居宅支援・就労支援等）を利用



して頂けるというのが現行の障害福祉制度となつていきます。

また、ご利用者の生活に対する『モニタリング報告書』を定期的に作成し、お住いの市区町村（入所施設のご利用者であれば実施機関）に提出します。

開設3年目の平成30年9月には、既存のサービスを維持したまま、『指定一般相談（地域移行支援・地域定着支援）』の指定を、東京都から受けました。これは、施設入所のご利用者様や療養型病院等の入院患者様が、地域で生活を送られる為の相談支援

（地域移行支援）、お一人でお住いになられた際に地域での生活を維持していく事をサポートする為の相談支援（地域定着支援）です。『相談支援専門員』は、直接の支援は法令上ではできません。しかし、支援員（援助者）であることに変わりはありません。

私は清瀬療護園に入職したての頃、先輩職員に「俺たちは、物や金を扱うんじゃない。気を遣え」と言われた言葉を

（乱暴な言い方とも捉えられるかもしれないが）今も大事にしています。

この言葉を忘れる事なく、ご利用者様・ご家族様の思いを受け止め、諸先輩方の知識や知恵の結晶ともいえる『清瀬療護園』という施設バックグラウンドを生かしつつ、これからもより良いご利用者支援、地域の活性化に積極的に取り組ませて頂き、地域福祉の一助になれるよう精進して参りますので宜しくお願い申し上げます。

いくの日記



3月28日にドリフターズのメンバーだった志村けんちゃんが新型コロナウイルスの為に亡くなりました。私はその知らせを聞いて、すごいショックで、大泣きしました。私はドリフターズが活躍していた時から志村けんちゃんが大好きで、テレビ番組『8時だよ！全員集合！』や『ドリフの大爆笑！』をよく見ていました。動物バラエティ番組『天才！志村どうぶつ園』も見ていました。

けんちゃんは、みんなをすごく笑わせてくれて、とてもおもしろい人でした。今まで、みんなを笑わせてくれて本当にありがとう！天国に行っても、けんちゃんの番組はみんなを笑わせてくれています。

4月23日には岡江久美子さんが新型コロナウイルスで亡くなりました。久美子さんが出演していた生活情報番組『はなまるマーケット』は、毎朝見ていました。やっくん（薬丸裕英）と総合司会をしていて面白かったです。ずいぶん前の昼のテレビドラマ『天までとどけ』シリーズもよく見ていました。大家族をテーマとしたホームドラマで、13人の子供の母親役を久美子さんがやっていました。あの13人の子供たちは今、大人になっていると思います。結婚して子供もいるかな。あの時の子供たちが、母親役だった岡江久美子さんが亡くなったことを悲しんで悔しんでいると思います。私は岡江久美子さんも大好きでした。

志村けんちゃん、岡江久美子さん、今までみんなを楽しませてくれて、どうもありがとう！天国でゆっくり休んでください。

（清瀬療護園 利用者）

職員紹介

笹井厚子（ささいあつこ）

（相談支援専門員）

4月に入職しました。福祉系大学を卒業後、知的障害者入所施設や相談支援センターで勤務し、幼児から高齢者まで



幅広く対応していましたが、精神障害・知的障害の方との

関わりが多かったです。医療的ケアや福祉用具について等知らない事も多く、改めて知識を増やしていかないと実感しています。相談支援専門員は直接介護をする役割ではないので『たまに現れる謎の人』という印象もあるかと思いますが、必要な時にお手伝いできるよう気軽に話し頂けたらと思います。よろしくお願いします。

